

2012年
12月号

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.65)



Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

TOP NEWS!

Mini-WANとは港や海に関連する新鮮な話題を中心に、
地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

豊橋技術科学大学生が三河港を学ぶ！

10月23日、豊橋技術科学大学の准教授と学生合わせて12名が三河港の現状を学ぶことを目的として豊橋港を見学しました。ポートインフォメーションセンター「カモメリア」にて、当事務所職員による概要説明を受けたあと、カモメリアの展望台から神野地区を見学しました。その後、港湾管理者（愛知県三河港務所）と三河港コンテナターミナル㈱の御協力のもと、ソーラス区域のガントリークレーンに登りました。当日は、雨、風ともに強かったこともあり、学生達は港湾での職場環境の厳しさを実感していました。



熱心に説明を聞く学生達



ガントリークレーンを見学

ガントリークレーンとは？



クレーン全景

コンテナを船に積んだり、岸壁に降ろしたりする大型クレーンで、そのカタチから「海のキリン」とも呼ばれています。操作は、地上約30mにある運転席で行い、重さ30～40tのコンテナを積み降ろすことができます。



アーム部分

三河港の神野地区には2基のガントリークレーンがあります。写真のガントリークレーンは、2基のうちの大きいもので、高さ62m、重さ530t、毎分45mの速度で移動でき、1時間で約44個のコンテナを積み降ろすことができます。

ソーラスとは？

Safety of life at Seaの頭文字からSOLAS(ソーラス)といい、1912年のタイタニック号海難事故をきっかけに定めた条約(海上における人命の安全のための国際条約)です。2001年のアメリカ同時多発テロをきっかけに条約が改正され、日本国内においても「国際船舶・港湾保安法」が成立し、新たにテロ対策のため、港湾施設での侵入防止の保安強化が義務付けられるようになりました。



第20回芳川渡し場まつり開催！

10月28日、高浜市芳川町の特別養護老人ホーム「高浜安立荘」で、渡し場かもめ会主催の「第20回芳川渡し場まつり」が開催されました。

芳川渡し場まつりは、昭和31年に廃止された吉浜～藤江を結ぶ「藤江の渡し」を偲ぶとともに渡し場の文化を伝えるために、毎年10月の第4日曜日に開催されています。

まつりは、吉浜小学校生徒によるブラスバンド演奏でスタートし、同小学校から募集した「海の標語」の表彰や、地元の方々の楽器演奏などが行われました。また、屋台では、焼きそば・豚汁・団子などが振舞われ大盛況でした。

クライマックスの「嫁入り舟」では、2組の夫婦が、それぞれ舟に乗り「藤江の渡し」を再現しました。会場の人々は、2組の夫婦に惜しめない拍手を送り祝福していました。



おめでとうございます！
末永くお幸せに。

クライマックスの「嫁入り舟」



愛知県と田原市合同の防災訓練を実施

11月10日、田原市で「平成24年度愛知県・田原市津波・地震防災訓練」が実施されました。この訓練は、東海・東南海・南海三連動地震及び大津波を想定したもので「津波から身を守る！ より速く より高く より遠くへ」というテーマに沿って行われました。

当日は、情報伝達、高台や避難所への避難、ヘリコプターによる海上での救出、流出家屋からの救出・支援物資搬送等の訓練が実施されました。また、高齢者への支援講習・防災講演も開催されました。

当事務所も、陸上自衛隊と連携して物資搬送訓練に参加しました。名古屋港湾事務所所属の清掃船「白龍」による航路の障害物除去作業に続き、神野地区から田原地区まで緊急物資の海上輸送を行いました。



訓練に参加した「白龍」



物資搬送訓練の様子

三河港湾ギャラリー



作品No.2 エネルギーを使う車とエネルギーを作る車
(自動車と発電用風車)

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>